

ワンマン運転の拡大について提案される！

グループ経営ビジョン「変革 2027」では、安全の確保をベースとして業務を高度化し、お客さまが求める輸送サービスを創造することを目指している。

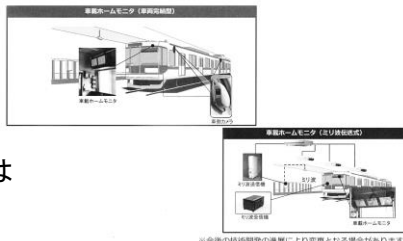
今後、人口減少や技術革新の進展等の社会環境の急速な変化に対応しながらお客さまが求める輸送サービスを提供していくため、短編成（1～2両編成）列車を中心に行ってきたワンマン運転を、技術の進展により確立した技術等を導入し拡大していく。

《実施内容》

- （1）路線や駅等の特徴を踏まえ、必要な技術・設備を導入し、線区・区間を限定せずにワンマン運転を実施する。
- （2）具体的には、3～6両編成（中編成とする）と7両以上の編成（長編成とする）に分け、それぞれの線区・区間やお客さまのご利用状況にあわせてワンマン運転に必要な設備を整備した上で実施する。
- （3）1～2両編成（短編成とする）列車のワンマン運転については、従前と同様に必要な設備を整備した上で拡大していく。

中編成ワンマン運転で整備予定の設備

・ドア閉時及び発車時に運転士がホーム上の安全を確認できるようにするため、車載ホームモニタ（車両完結型またはミリ波伝送式）を整備する。



※今後の技術開発の進展により変更となる場合があります

長編成ワンマン運転で整備予定の設備

・ドア閉時及び発車時に運転士がホーム上の安全を確認できるようにするため、車載ホームモニタ（ミリ波伝送式）を整備する。
 ・ご利用の多い路線の駅ホームにおける安全確保のため、ホームドアを整備する。
 ・安定輸送確保のため、ATO（自動列車運転装置）又はTASC（定位停止装置）を整備する。
 ・異常時のお客さま対応のため、指令一斉室間通話機能を整備する。



※今後の技術開発の進展により変更となる場合があります

《実施日》

令和2年3月

※具体的な実施日については
各地方で示していく

《スケジュール》

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度～
短編成	※従前と同様に必要な設備を整備し拡大			
中編成		車両改造・訓練・実施等		
長編成			車両改造・訓練・実施等	
社員周知	▼社員周知			
労使協議	▼労使協議（本部・本社） ～10月	※各線区の具体的なスケジュール等については、各地方で示していく		

提案前に具体的内容の掲示がされていたことを指摘！

- （組合）一部の職場において具体的な線区・区間やスケジュールが掲示されていたことは到底看過できるものではない。
- （会社）社員の声を聞きながら車側モニタの調査を行っているなかでの資料と理解している。どういう掲示か、なぜ撤去されたのかは把握していないが、掲示されたことは認知している。
- （組合）本社の運輸車両部が出している資料だが把握していないのか。
- （会社）本社として出している資料は昨年社員説明を行ったタブレットへ配信しているもののみである。
- （組合）あたかも決定事項のように出されている。社員の声をもとにした検討レベルをはるかに超えている重い内容である。当該線区の組合員は不安になっている。調査すべき、そして、その内容が会社としてどういう位置づけのものであるのかを示すこと。
- （会社）必要な確認は行う。

調査及び回答を強く求める！